

第二十回 妙なる畑の会・全国実践者の集い

「 人生における自覚と術 ^{すべ} —自然農を舞台に— 」



2011年 11月18日・19日・20日

世話役 福岡自然農塾

第二十回全国実践者の学びと指導者世話役学習会に向けて

「 人生における自覚と術^{すべ} — 自然農を舞台に — 」

新たな年が明けて冬が去り春が訪れ、はや新たな初夏の訪れです。刻々未だ知らない未知なる世界が現れ、我もまた未知なる今です。

皆様いかがお過ごしですか。日々を大切に…、我が想い大切に、今日の一日を励み、喜びのある今を生きておられることと想います。

年一度、二十回目の学びを重ねる準備を、福岡自然農塾の人達が、深い思いと明けき明日への願いを抱いて進めて下さっています。

二十年は人生百年からすれば五分の一年。かけがえのない大切な時を意義あるものへと少しずつ積み重ね、次へと歩みゆくことができてきました。いのちあるもの休まず止まらず、営み続くこと自ずからであり、成長への学びも、誤ることなく相応じての営み。死ぬまでです。

自然に添い応じ従い任せてゆく自然農。持続永続を約束してくれる自然農。他所に依存することなく一枚の田畑で完結する自然農。一家で、一地域で、それぞれの地で完結する自然農。一国で、地球上で完結する自然農。私達人間のいのちを豊かに健全に生かしてくれる自然農。他を損ねることなく環境に問題を招くことなく自らをも病ましめることのない自然農…。生かされるなか自然に添って絶妙に生きる米、麦、小麦、イモ、トウモロコシ、野菜、果物等々…。同様に、自然なるいのちの世界に生かされ生きる私達人類にとっても、自然に添い応じるしかなく、添うこと応じることが最善なのでありますが、この自然界、生命界において、そして人々が織り成す今日の人間社会で生きるにおいて、是非に目覚め、悟り、解決せざるを得ない問題が次々と起こり続けます。

完全絶妙、大調和にして揺るぎなき秩序であり続けるこの自然界、生命界…。なんとも豊かで美しく厳かなるこの自然界、生命界…。生かし続け無償で与え続けてくれるこの自然界、生命界…であります。一つの存在を、一人の存在を、人類の存在を、地球の存在を…、一瞬にして破壊し、亡きものに追いやり、死滅せしめる営みをする激しい厳しい自然界、生命界でもあります。また、このいのち自ずからなる自然の道、いのちの道からはずれることを私達人類に決して許さずです。目覚めることで暗闇に陥り、愚かごとから離れることができなければ、必ず滅亡へとおとしめる非情なる自然界、生命界で

あり、私達人類は今日も厳しく問われ続けています。

自然の道、いのちの道を得た自然農を実践して三十二年を重ね七十二年を生きてきた僕も、ここに至って悟らざるを得ないこと、なお目覚めざるを得ないこと、考え工夫し学びを深くせざるを得ないこと、さらに速い勢いで育たざるを得ないこと、解決してゆかなければならないことが、生き方においても、実生活においても、田畑においても、次々と生じてまいり、問われ続け、ためされ続け、成長を促され続けての日々です。

皆様も相似たなかで、それぞれの学びの場で、またそれぞれの生活の場で、それぞれの人生の舞台で、経験を重ね、思索研鑽を深め、学び育つことを促される日々と思います。年一度、全国各地で自然農に思い深くしておられる皆様と集い、言葉を重ね、田畑を見学しての学びの時を、今年も持つことができました。嬉しいです。是非に、その日に向けて時間調整をされ、ご参加下さい。少しずつの学びの積み重ねで、いのちある人として育ち、確かないいのちの道、人の道、人類普遍の道、そして我が道を得て、生きている間を全うしたく思います。三日間の実践者の方達との学びと、その後に行います各地の学びの場における指導者世話役の方達との学びが、僕にとって、一人ひとりにとって、意義深いものになるべく、真理に対して、道に対して、そして参加者一人ひとりに対して、謙虚に誠実に素直にのぞみたく思います。なお、二十回目を迎える今回は、この学習会を今後中心になって担ってくれます沖津一陽さん、高橋浩昭さん、澤井久美さんの三人、それに今回の開催地代表の松尾靖子さんを交えて、皆様と一体となつての実践者の学びを三日目に行う予定です。

今年のお米の一生が終わるこの秋十一月、必ずやってきます。

多くの方達との再会と、新たな出逢いをも楽しみにいたしております。

平成二十三年六月三日

川 口 由 一

自然農実践者の皆様へ

山々に鳥たちのさえずりが響きわたり、緑は薫り吹く風に水の音に生命の世界の豊かさを感じる季節となりました。全国で自然農を実践されている皆様、いかがお過ごしでしょうか。

「第二十回妙なる畑の会・全国実践者の集い」は、今秋、福岡県糸島の地で開催される運びとなりました。福岡での学びは、今回で4度目となります。また、福岡自然農塾が誕生して今年ちょうど20年目にあたり、期せずして「全国実践者の集い」と同じく20歳を迎えることになりました。20年とは、過ぎてみればあっという間の出来事のような気も致しますが、そこにはたくさんの時の流れと、営みの一つ一つが確かにありました。

20年前、標高400mの「唐原」の地で始まった学びの場は、始まりの時にふさわしく、天空に抱かれたような清々しい棚田においてでした。年2回、川口さんをお招きしての学習会と同時に始まり、30数名がお米づくりを実践を通して学びました。収穫は、わずかでしたが、とにかく楽しく、うれしく、大人も子供も生き生きと生命輝いていたことをなつかしく思い出します。

その後、学びの場は「唐原」から現在の「松国学びの場」へと移り、また、上の山、一貴山、花畑などへも広がり、川口さんをお招きしての学習会も、14年間続けることができました。その間、自然農の上映会や、川口さんのご講演や対談など様々な形の学びも経験させて頂き、合計28回の学びを重ねることができました。その後、当塾が始まった当初から学んでいる5名のスタッフを中心に、引き続き見学学習会という形の学びを2ヶ月に一度重ね、今日に至っております。

自然農は「耕さず、草や虫を敵とせず、肥料・農薬を用いず、ひたすら生命の営みに沿う」農です。田畑に立って実践を重ねる中で、この自然農のあり方と、その奥に横たわるいのちの世界の理が、時を重ねるごとに深く響いてくるようになりました。

「耕さない」ということは過去の営み、その重なりを大切にすることです。「草や虫を敵とせず」は単に共生という意味にとどまらず、自然界の本来の姿、あり様を知る、ということではないかと思えます。「肥料・農薬を用いず」は、本当に健康な生命の巡りを大切にすることです。そして「生命の営みに沿う」ということは、智慧を手にした人間が、ともすれば傲慢に陥るあり方を問わなければ成し得ません。

田畑の事でありながら、実は、そこで農を営む私の在り方が問われていることを、この20年間折々に知らされ続けてきました。そして、その一つ一つが本当に大切なことでした。田畑における応じ方のところでは、その時々私の人間性が問われ、境地在問われます。さらにそのあり方は、田畑を離れたところにおいても、人が生きてゆく全てのことに共通する答えとなる在り方を示すものでした。

今年3月、東北の地でなんとも痛ましい天災・人災が起きました。それは日本中、いえ国を超えて世界中の人々に、生命の世界の本来の有るべき様を問い直すことを、促すものでした。

愛する人の生命も私の生命も、長らえることを何一つ保障されない、いつ、何が起こっても不思議はない、この生命の世界にかろうじていかされている私たち……しかし、生かされている間は生きなければならず、そしてこの生命の世界の素晴らしさ、美しさ、尊さも、知っている私たち……今、ここに至って、私たち一人一人がいかに生きねばならないのか、……曇りのない心でいのちの道に立った自覚を問われています。

この「妙なる畑の会・全国実践者の集い」が一人一人の誠実なる思いを、更に確かなものとし、明日を生きるための明かりとなって、それぞれの足元にともりますよう、そして、この記念すべき学びを皆様と共に深くしてゆけますことを心より願っております。

2011年6月19日

福岡自然農塾スタッフ一同

第20回 妙なる畑の会 全国実践者の集い・福岡 ご案内

〈テーマ〉「人生における 自覚と術^{すべ} ～自然農を舞台に～」

〈日時〉平成23年11月18日(金)・19日(土)・20日(日)

(11月18日(金)13時開始。20日(日)15時30分終了予定。)

〈集合場所〉福岡県糸島市 JR「筑前前原」^{ちくぜんまえはら}駅 南口11時30分～12時5分集合
マイクロバスにて順次、松尾ほのぼの農園へ移動・受付 13時開会

※18日(金)の昼食は、各自で済ませてください。

〈見学場所〉18日(金) 松尾ほのぼの農園・松国自然農学びの場(糸島市二丈松国)
高井農園、仁科農園(糸島市二丈他)

19日(土) 鏡山農園・一貴山自然農学びの場・村上農園(糸島市二丈一貴山)

〈研修会場〉国民宿舎虹の松原ホテル TEL 0955-73-9111 FAX 0955-75-9991
〒847-0017 佐賀県唐津市東唐津4-182

〈宿泊場所〉国民宿舎虹の松原ホテル 及び 唐津シーサイドホテル

〈参加対象〉1年以上自然農を実践した方を対象としています。

〈募集人数〉230人

〈参加費〉24,000円

* 2泊3日 宿泊代・食事代・集合場所からの移動にかかる代金等を含みます。

* 参加費は、参加者の人数等により変更することがあります。ご了承下さい。

〈申し込み・問い合わせ先〉

*別紙申込書により、必ず 郵送にてお申し込みください。

〒819-1124 福岡県糸島市加布里839 木下まり

TEL 092-323-6606

〈申し込み締め切り〉8月10日(金)まで。

※なお、定員になり次第、締め切りますので、ご了承ください。

〈交通機関のご案内〉

- ・JR 博多駅から福岡市営地下鉄～JR 筑肥線(相互乗入)で「筑前前原」^{ちくぜんまえはら}駅まで 約40分
- ・福岡空港から 福岡市営地下鉄～JR 筑肥線(相互乗入)で「筑前前原」駅まで 約45分
- ・公共交通機関でのご参加をお願いします。

〈解散後〉

- ・JR 東唐津駅から JR 筑肥線～福岡市営地下鉄(相互乗入)で JR 博多駅、福岡空港まで約1時間30分。
- ・国民宿舎虹の松原ホテルから JR 東唐津駅まで徒歩30分。急がれる方からマイクロバス及び自家用車にて東唐津駅まで送ります。

※大切な学びの時間です。深き学びとなりますよう、乳幼児、幼少期のお子様のご参加はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。